

静かに蠢く人間の深層心理

- 多くの登場人物
  - それぞれの視点から物語が展開
  - ・胸の内にある打算や駆け引き
  - ・人を支配しようとする欲望
- 「無意識の偽善」



他者を支配しようとする心理
（本来の欲求を抑え込む）

新婚夫婦の心理戦



津田とお延

- お延 — 津田をコントロールしたい
- 津田 — 過去の恋人が忘れられず
- 半年も経たず関係ぎくしゃく
- ⇒ 愛情よりも、駆け引きが渦巻く

- 周囲の人々 — 親切心を装いながら二人の関係に介入
- 表面的な円満さの裏で展開される心理戦

未完の謎が残す余韻



転換点

- 清子の存在 — 津田の元恋人
- 温泉地 ♨ で津田は清子に再会
- ⇒ 漱石の死により物語は未完のまま終了…

- 漱石の言葉
  - 「則天去私」
  - 私利私欲を捨てて自然なまま生きる